

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

		整理番号	411
事業名	私立保育園離島運営費補助金	予算科目	会計 一般会計・1 款 民生費・3款 項 児童福祉費・2項 目 保育所費・4目
担当部課名	健康福祉部 福祉課		
電話	0799 - 44 - 3002		
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	南あわじ市民間保育所運営費補助金交付要綱
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_	
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち【子育て】	
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える	

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 南あわじ市保育所の保育目標に同調し、家庭的な保育環境の中で、又、恵まれた自然環境を生かし、自然とのふれあいを大切にしたい保育を実施する。			
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) 子ども達の1日の過ごし方については、児童の年齢及び児童個々の状況に応じ、担当保育士並びに園長が協議しこれを定める。			
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等)			
		施設名称： 住 所： 職 員： 園 児：	ぬしま保育園 南あわじ市沼島2484番地 園長1名、保育士2名、調理師1名 定員20人に2歳児3人、5歳児1人 計4人	構成員人数(人)	4
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体 <input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()		
	補助金算出根拠	南あわじ市嘱託職員の人件費相当額 月額 152,800円×14ヶ月=2,139,200円(賞与2ヶ月分含む) 諸手当 11,000円×12ヶ月=132,000円(通勤費等) 社会保険料等 230,000円 合計(補助額) 2,500,000円			
補助交付期間	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 18 年度 ~ 平成 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし				
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から				

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	5,680	3,520	5,760	2,500	2,500
	私立保育園離島運営費補助金	5,680	3,520	5,760	2,500	2,500
	事務局事務費(市が事務局の場合)					
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	5,680	3,520	5,760	2,500	2,500
	人件費(正規職員)[B] (千円)	903	837	846	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4
	事業量1(事業に要した日数)	30	30	30		
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	
	年間経費([A]+[B])	6,583	4,357	6,606	2,500	2,500
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-
経費に関する 補足説明	平成22年度より減額している。 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 運営補助金を交付したことにより、沼島地区の保育に欠ける乳幼児・幼児のために保育にあたることができた。				自己評価 (5点評価)
					4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 沼島地区の乳幼児・幼児をもつ共働き夫婦などが、安全、安心して生活できるよう保育にあたる必要がある。				
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 沼島地区の乳幼児・幼児が、保育所で安全、安心して健やかに生活できることで、共働き夫婦が安定した生活基盤に寄与することができよう継続して保育にあたる必要がある。				<p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	現状維持としているが、今後、入園者が見込めない状況で施設の方向性を地元関係者と協議していく。	同左。
(現状維持以外の改善方法)	保育所管理運営する責任者は、社会福祉法人として高齢者福祉事業と併用運営することで経営安定化を図る計画を模索し、行動計画を今後計画する予定である。	同左。
改善によって期待される効果	高齢者福祉事業と併用運営することで、財源確保ができ、経営安定化を図ることができる。	同左。
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 沼島地区の共働き夫婦などが生活基盤の安定のために、乳幼児・幼児を家に残しておくか、又は生活が安定するまで子どもの出生を遅らすなど地区の生活環境に大きな弊害をもたらす。 しかしながら、保育所の運営管理費は多額な費用がかかるため、今後近隣の保育所との統廃合に向けた協議は必要である。	